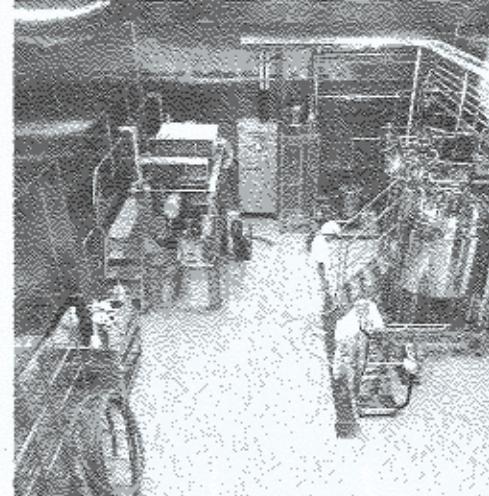


# 乳酸菌生産物質タンク増設

容量2トン 光英科学研が来春稼働

【川越】光英科学研究所（埼玉県和光市、村田公英社長、048・467・3345）は、乳酸菌生産物質を製造する発酵タンクを増設する。現在の3基（いずれも容量1t）に同2つのタンクを1基追加して設備に余力を持たせる。同社は2021年9月期から一般消費者向け飲料や加工食品向けの供給を始める計画で、複数の製品を柔軟に製造できるようにする。投資額は付帯設備を含め数千万円で、2021年春にも稼働する。



## 飲料向けなど拡充

3基のタンクのうち  
1基は受注生産専用。  
2基が通常生産用で、  
現在は「2基で交互に  
やりくりするので、工  
程作業が結構大変」  
4基目のタンクを入  
れ、より柔軟な生産体  
制を構築する

（小野寺洋子専務）な  
状況にある。  
新年度となる21年9  
月期には、主力の健康  
食品や栄養補助食品の  
市場に加えて、一般消  
費者向けの飲料や加工  
食品向けにも本格的に  
供給を始める。「複数  
の案件が並行して進ん

上は計画を上回って  
いる」（同）という。  
輸出も中国向けを中  
心に堅調に推移してい  
る。タンク増設以降は  
新たな機能性食品への  
原料供給や、乳酸菌生  
産物質に美容成分を加  
えた自社ブランドの飲  
料など、製品の幅も広  
げていく計画だ。

**日刊  
THE NIKKAN  
工業  
KOGYO SHIMBUN  
新聞**

9月17日木曜日

2020年(令和2年)